

平成30年度福島県後期高齢者医療広域連合財務書類4表相関図

貸借対照表は、左側に資産、右側に負債および純資産を表示しています。
住民サービスを提供するための資産や、返済しなければならない債務が年度末時点でどれだけあるのかなどを知ることができます。



資金収支計算書は、行政活動を資金の流れから見たもので、会計年度内における資金の増減内訳を示しています。
・経常的収支の部
経常的な行政サービスに伴う資金は赤字ですが、前年度からの繰越金があるため全体的には黒字となっています。
赤字となった主な要因としては、補助金等の前年度償還金が含まれているためです。この償還金を差し引き、実質の剰余金を算出すると、資金は黒字になります。

貸借対照表			
【資産】		【負債】	
固定資産	30,037万円	固定負債	29,249万円
流動資産	1,272,948万円	流動負債	102万円
...		【純資産】	
預金現金	1,272,264万円	純資産	1,273,633万円
資産合計	1,302,985万円	負債・純資産合計	1,302,985万円

資金収支計算書	
収入	23,936,189万円
支出	23,815,217万円
本年度資金収支額	120,972万円
期首歳計現金残高	1,151,190万円
期末歳計現金残高	1,272,162万円
本年度末歳計現金残高	102万円
	1,272,264万円

行政コスト計算書	
純経常行政コスト	23,790,908万円
臨時損失等	0万円
純行政コスト	23,790,908万円

純資産変動計算書	
期首純資産残高	1,152,352万円
純行政コスト	23,790,908万円
一般財源、補助金受入等	23,912,189万円
資産評価替え等	0万円
期末歳計現金残高	1,273,633万円

行政コスト計算書は、1年間の行政活動のうち給付費の支給や健康診査委託費などのように資産形成につながらない行政サービスに要する経費とその財源となる預金利子や第三者行為損害賠償金などの収入を明らかにしたものです。
この行政コスト計算書は、企業会計における損益計算書にあたるものですが、利益の追求を目的とする企業とは違い、営利を目的としない広域連合の行政サービスの提供にどれだけ費用(コスト)がかかったか、その内容の分析を行うことを目的としています。

純資産変動計算書は、広域連合の純資産が1年間でどのように変動したかを表しています。

